

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H308	金融論	3年	講義	2	今喜史
授業概要 街には銀行や保険会社などの金融機関があり、わたしたちの暮らしは預金や奨学金、住宅ローンなど、さまざまな金融取引に支えられています。最近では仮想通貨やスマートフォンを使った決済など、技術の進歩とともに新しい金融の手段が次々と現れています。一方で、バブル経済や世界金融危機など、時には金融が原因となって大きな経済問題が発生してしまうこともあります。この講義では、金融とはいったいどのような取引なのか、また経済の中でどのような役割を果たしているのかを考えます。金融機関への就職を目指す人に限らず、社会人として知っておくべき金融のしくみについて、基礎から学びます。					
到達目標(学習の成果) ①金融機関の役割について理解し、基本的な金融商品のしくみを説明することができる。(DP3) ②日本や世界の金融にかかわる出来事について知識をもち、何が問題となっているのかを説明することができる。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	金融とはなにか	身近な金融取引にはどのようなものがあるのか、金融の基本的な考え方を知る			
2	資本と投資	金融によって投資が行われ、資本が増えるということの意味を理解する			
3	株式会社のしくみ	株式会社とはどのようなしくみなのか、所有と経営の分離について理解する			
4	発行市場と流通市場	国債や社債などの債券のしくみを理解し、流通市場のはたしている役割を考える			
5	直接金融と間接金融	2つの金融システムの違いについて理解する			
6	金融システムの意義	もし金融機関が存在しなかったら、どのような問題が生じるのかを考える			
7	情報の非対称性を解消するために	担保や情報生産など、金融取引を支えるしくみについて理解する			
8	銀行の役割	銀行の資産変換機能を理解し、金融システムの中で銀行の役割を位置づける			
9	証券市場の役割	分散投資や投資信託のしくみを理解し、証券市場のはたしている役割を考える			
10	利子率の計算	実際の利子率に基づいて、複利計算とは何かを理解する			
11	長期金利	長期金利がどのように決まっているのか、期待仮説に基づいて計算する			
12	資産価格とバブル	バブルとは何か、なぜくり返し発生するのかを理解する			
13	為替レートと国際金融	外国との金融取引や為替レートについて、基本的なしくみを知る			
14	新しい金融の流れ	クラウド・ファンディングなど、インターネットやSNSを駆使した金融取引について知る			
15	講義のまとめ	講義で学んだ事項を整理し、現代の金融にかんする問題について理解を深める			

準備学修(授業外の自己学修)

日常生活の中で、金融にかんするニュースや金融機関の動向などについて、意識して観察するようにしてください。

成績評価の方法・基準(%表記)

期末試験(100%)

観点	S	A	B	C
金融機関の役割や金融商品のしくみについて、正しく理解しているか(DP3)	非常によく理解している	よく理解している	ある程度は理解している	最低限は理解している
現代の金融に関する諸問題を理解し、望ましい対策を考えることができるか(DP3)	非常によく理解している	よく理解している	ある程度は理解している	最低限は理解している

教科書

川西 諭、山崎 福寿(著)、『金融のエッセンス』、有斐閣、2013年、本体1900円。

講義で使用するプリントなどの資料は、すべて教室で配布します。

参考書等

家森 信善(著)、『金融論』、中央経済社、2016年、本体2200円。

履修上の注意・学修支援

金融について疑問に思うことがあったら、講義の後やオフィスアワーなどに気軽に質問してください。